

令和8年度
新潟市マンガ・アニメ情報館 及び 新潟市マンガの家
運営事業計画書

令和8年度の重点目標

- 情報館・マンガの家両館合わせて50,000人以上を集客する。
- 情報館・マンガの家共にスペースの新しい利用方法を企画・実行し、歳入や自主事業の増収を図る。
- 物価高に応じた運営の効率化・見直しの推進

【施設運営】新潟市マンガ・アニメ情報館

① 常設展示室

R7に改修した箇所を活用し、新たな魅力の創出を図る。

■改修箇所の魅力創出

- ・「声優になってみよう」新規コンテンツをアピールするイベントの企画実施
- ・「とばしてワンワン」「旧受付カウンター」撤去により生まれたスペースの有効活用

■ピックアップコーナーのミニ展示を通して情報発信頻度を高める。

- ・「にいがたのマンガ・アニメクリエイター」には入りきらない最新の「ゆかり作家」情報をパネル展示にて随時更新する。
- ・産業、教育などにおける分野活用事例を集めた展示を行う。
実施予定：随時行うが特に関連イベントがある6月、3月に重点を置く。

■企画展を開催していない期間を利用して施設の外部利用機会を設け、施設の新しい価値を創出する。

主にアニメスタジオ、コンテンツ開発企業、学校を中心に誘致し、ネットワークづくり、教育支援に寄与するとともに入場料収入増の効果も狙う。

実施予定：2月）開志専門職大

3月）新潟国際アニメーション映画祭

■小中学校向け団体誘致プランの実施

同分野の職業啓蒙としてキャリア教育施設と小中学校などの今後はより市外、県外な

どの学校に繋がれるよう旅行企画会社などへのアピールを増やし誘客に繋げる。
進行予定：4月～6月）デザイン、広報

■海外客への対応強化

- ・掲示POPに可能な限り英訳表記を入れる。

② 企画展示室

■マンガ、アニメのコアなファンに向けた作品の他、年齢層や嗜好を問わず広く認知された作品などを織り交ぜ、より広い市民の方においでいただけるような展覧会スケジュールを構築する。令和8年度は作品展示だけではなく多様なスタイルのイベントを予定。より幅広い層の取り込みを狙う。

○「青の祓魔師展」展

令和8年4月4日～5月10日（37日間）

※発表から20年にわたる人気を誇る作品。現在もマンガ・アニメで展開されている。新潟が最終巡回地。

○ガンダムベース ポップアップショップ（仮称）

令和8年5月29日～7月5日（38日間）

※世界的なマーケットを持つ「ガンブラ」と取り扱う専門店「ガンダムベース」の出張版。一般的なファミリーはもちろん、6月に開催されるASPAC来訪者もターゲットとして企画。

○忍たま乱太郎展（仮称）

令和8年7月18日～9月6日（51日間）

※30年の長い人気を誇る作品。近年は40代までの大人女子に絶大な人気を集めているトレンド作品。「原画展示」＋「謎解き体験」という大型体感イベント。

○他、3本を検討中。

【施設運営】新潟市マンガの家

① 常設展示コーナー

各所稼働の維持管理強化と新規の取り組みによる新たな価値向上を目指す。

■蔵書メンテナンス強化と新潟ゆかりの作家、作品の購入を随時進める。

■蔵書コーナー『おすすめ本棚』

開志専門職大学アニメ・マンガ学部学生による推薦作品を並べた本棚を作成。PRするPOPなども作成し掲示する。

入替実施）年4回

■創作系同人誌即売会コミティアとの連携

同即売会の新潟開催に合わせて同人誌の読書会を実施する。誘客と同時に創作活動を支援する施設というコンセプトをPRする。

実施予定）6月 12月

② 企画展示コーナー

■地域資源を活用した展示を年1回以上開催する。

○マンガの家シリーズ企画展『オシエシ（推し絵師）！』

新潟市在住のクリエイターを紹介するミニ展示会。

実施予定：随時

○三条市立図書館「まちやま」連携事業

まちやま主催の市民イラスト展をマンガの家で巡回展示する。

実施予定：4月

○Obelne 創作50周年展（展示名仮）

マンガ家で開志専門職大学の教授でもある belne 氏の記念展。

実施予定：7月

○ORENGA 展

R7 年度に初開催した当館アウトリーチ先である複数の小学校が参加する作品展。

○『にいがたマンガ大賞作品展』

実施予定：R9年2月～3月

※同賞入賞作品や作家応援イラストなど展示。部門ごとに展示入替する。

○地域イベント関連展示

・「古町どんどん」

※イベントポスターやPRマンガの掲示。

実施予定：5月、10月

・「新潟国際アニメーション映画祭」

※イベントポスターやPRマンガの掲示などを検討。

実施予定：3月

③ 制作・体験プログラム

■同分野に限らず、広く創作支援につながる体験内容を下記のように新規企画しメニューを増やす。

○開志専門職大学実習生によるオリジナル制作講座

※実習生が企画から運営を担当。内容の精査や指導などを行う。

実施) 8月 12月

○マンガの家カレンダーカットイラストコンテスト

※カットイラスト制作講座から作品を募集。相応しいものはカレンダーカットに採用する。

実施) 8月

○『本をつくろう』講座

実施) 12月

※コミティア、ガタケットなどの同人誌即売会参加無料招待を含め訴求する。

○『にいがたマンガ大賞こどもマンガ塾』

※令和5年度から実施。令和7年度からは参加者から同賞応募に繋げる連続講座として計6回開催。

検討) 4月～6月 広報) 6月 実施) 7月～8月

○『みんなのデッサンラボ』

※令和6年度から実施。登録制社会人向けデッサン講座を毎月第4金曜日に開催。

情報館及びマンガの家 連携事業

■情報館開催企画展との連携企画を主に展開し両館の施設利用促進と街の回遊に効果を上げる。

○3月開催の「新潟国際アニメーション映画祭」とタイアップした企画を検討。

他施設・イベント連携事業

市内外他施設・店舗や市内学校との連携を積極的に進め、両館の認知を拡大する。

■ASPAC にいがた EXPO（2026 JCI ASPAC 新潟大会トレードショー）に関連したイベント

実施予定）6月

■新津美術館『出前美術館』

実施予定）7月、9月

※市内小学校でのマンガ制作講座講師派遣

■三条市立図書館まちやま『出張版マンガのいっぽ』

実施予定）5月、8月、10月

※マンガ制作講座講師派遣

■ビルボードプレイス野外イベントへの出展

実施予定）10月

※缶バッジ制作、似顔絵体験などを通して施設をPRする。

広報・PR活動

■同分野ファンとの親和性が高いデジタル広告メディア（Google、X、インスタなど）を積極的に活用し、紙媒体の告知物を減らすことで資源の効率化を図る。

・情報館企画展ごと随時実施

■アウトリーチの積極展開。小中学校や他施設との連携を深める。

■市、県の観光担当課と連携し海外ユーチューバー取材の誘致及び機会を増やし、海外客誘致へアプローチする。

■地域企業などとコラボしたキャンペーン、商品開発を進め話題を創出し、メディア掲載機会を増加させる。

■施設アンケートの中心を二次元バーコード、Google Form などデジタルメディアを使ったものに切り替えスムーズなアンケート誘導を行い、即時運営に反映する。
両館実施開始）5月～

自主事業

現状のミュージアムショップ、展覧会物販事業に加え、各企画展やイベントに合わせた商品を開発し話題性と利益の向上を図る。また、商品の開発には市内事業者との連携を基本とする。

■マンガ制作画材セットの開発、販売
7月、8月のにいがたマンガ大賞こどもマンガ塾に合わせ販売する。

■有料の制作講座を検討する。
上記販売画材とセットにした講座を企画。

■缶バッジサービス有料化の検討。